

CONUN 事業計画書

Blockchain-based Distributed Supercomputing Platform



本文書は CONUN プラットフォームサービスを利用しようとする方たちの理解を助けようと関連された情報を提供するため、参考に目的にのみ作成されました。

本文書の内容は投資を提案したり、投資の諮詢の目的とは無関係であり、CONUN トークンのいかなる販売や購買に対する規約で解釈できません。必要な場合利用者は法律又は財務専門家のアドバイスを受けることを強く勧告します。

本文書で説明した文具、推定および結論などは今後ある予想を含めているが、予想される結果と相反する結果を招きかねず技術的に不正確な内容や記載ミスが有り得るので、掲示されたいかなる内容も正確性を保証しないです。

本文書は更新され、又は変更でき、変更の際、最新バージョンの文書が以前のバージョンの内容を代替することになり、当社は、え浮かんでいた変更事実又は変更内容について通知する義務がありません。

利用者は、本人の判断によって CONUN トークンを購入し、受領及び保有して、サービスを通じて使用したり、第 3 者間の取り引き行為などによる利益、損失及び税務関連評価に対する責任は利用者本人にあります。

本文書は CONUN の技術白書と開発ロードマップを基に CONUN プロジェクト進行状況について説明しようと作成されました。より詳細な内容は CONUN 公式サイトで確認してください。
(www.conun.io)

本文書はコノンを簡略に紹介する文書として 5 つのパートにまとめて記述します。
まず私たちはコノンというのは何かについて手短な説明をして、コノンのプラットフォームと生態系について説明します。
そしてコノンプラットフォームの完成や拡大のためにコノンの事業活動を紹介して事業活動のために発行されるトークンと基金運用について説明します。

1. CONUN 紹介

CONUN は、個人用コンピューターの遊休プロセシング資源を共有して高性能のコンピューティングリソースが必要な様々なプロジェクトを処理できるように水平的分散型デスクトップコンピューティングシステムを構築するプラットフォームです。

このプラットフォームは、個人用パソコンだけでなく、個人が携帯しているスマートフォンの資源を共有することも含めます。

CONUN は個人用コンピューターをインターネットで P2P ネットワークで連結して高性能のコンピューティングパワーが必要な応用プログラムの要請者が自分のコンピューティングリソースを共有しようとする者又は団体のコンピューターで一部のコンピューティングパワーを賃貸して当該応用プログラムを遂行できるように構成します。

このような構成は一般的に大容量のジョブ処理と長い処理時間が要求されるプロジェクトを遂行するのに役立つかいます。

CONUN は要請者の応用プログラムから必要なプロセスを体系的に構成して分散されたコンピューティングリソースで効果的に実行する方法を実装します。

このような方法はコストが高くするクラウドコンピューティングサービスを代わりにしてコンピュ

ーティングの使用時間を短縮して低コストで科学計算や機械学習のような複雑な応用プログラムをより簡単に利用できるようにします。

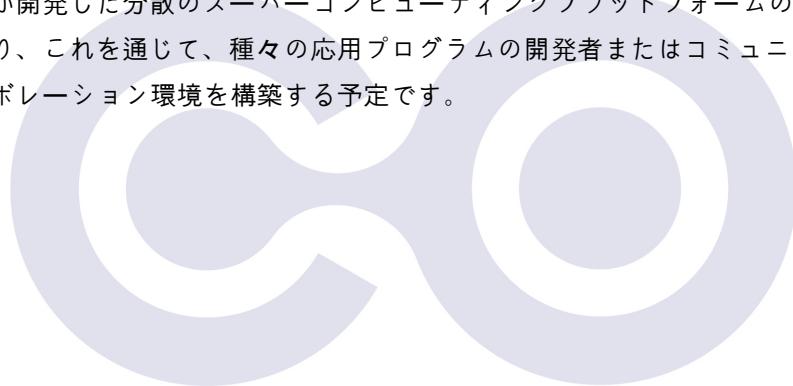
CONUN はプラットフォーム内の参加者たちにブロックの技術を適用して、プラットフォームの生態系を造成することです。 私たちが呼ぶ DSC(Distributed Supercomputing) プラットフォーム内で発生する全ての取引つまり、トランザクション(Transaction) を記録して管理する目的で活用されます。

また、応用プログラムの処理の要請および補償と関連した内容などがスマートコントラクトで作成されてブロックチェーンネットワークを通じて配布されます。

したがって、DSC プラットフォームで行われるすべてのトランザクションはブロックチェーンネットワークにあるすべてのノードに保存され、特定したサイトを通じて取引の内容を把握することができます。

現在、私たちはこのドリウことネットワークを使用する予定で開発しているので基本的にこのドリウさの dApp 環境と暗号化方式や採掘方式を使用する予定であり、これを基盤に CONUN のメインネットワークが構成されて運営される予定です。

そして、私たちが開発した分散のスーパーコンピューティングプラットフォームの一部は今後公開される予定であり、これを通じて、種々の応用プログラムの開発者またはコミュニティと協業が行われるようにコラボレーション環境を構築する予定です。



2. CONUN プラットフォーム環境

CONUN

プラットフォームの生態系は大きく二つに分類することができます。

第一に、分散のスーパーコンピューティングプラットフォームを完成させる物理的かつ技術的な DSC 領域と第二に、プラットフォーム内で参加者間の参加して作られた経済、社会、文化的な領域すなわち、Blockchain CON 領域です。

DSC 領域は非常に長い間、グリッドコンピューティング、ストレージ、ファイル共有、クラウドなどの多くの産業分野で技術が開発されてきました。

数多くのコンピュータ資源を共有できる技術が発展されてきたが、資源を共有する参加者らに支給できる補償が今まで限界がありました。

我々は、このような IT 技術を脱集中化、タルジュンアン化が可能、誰でも参加が可能で、補償可能なブロックの技術を組み合わせて、参加者たちに合理的な補償を与えることができる長所に焦点を合わせてプロジェクトを進めています。

私たちは技術開発初め、プラットフォームの生態系を運営するため、プラットフォームに参加する要請者及び供給者と投資者に分散型デスクトップコンピューティングに対する価値を提供する側面にこのドリウさブロックチェーンを基盤とする党のトークンを使用する予定です。

トークンはプラットホームの生態系の分散コンピューティングサービスを処理するための支払メディアの役割を果たし、サプライカントと供給者はトークンを使用して、コンピュータ資源の使用に対する補償をやり取りできます。

CONUN はコンピューティングリソースの供給者とそのコンピューティングパワーを必要とするすべての応用プログラム要請者及び事業者全員が自由に参加する水平的分散型コンピューティングパワー共有プラットフォームを提供して、すべての参加者が便利に取引するための暗号貨幣(Cryptocurrency)を提供することで未来志向的なコンピューティングパワー共有の生態系を構築すると確信します。しかし、私たちは私たちのプラットフォームの生態系を運営するための支払手段としてこのドリウさと基盤のトークンだけで全てのコノンプロジェクトに適用するには多くの制約があるということを理解しています。

CONUN プラットフォームの生態系は次のような目標で構成されて開発されています。

1. このドリウさブロックの基盤の ERC20 トークンを利用した DSC dApp 開発や環境テスト
2. Windows、Linux、Mac OS 環境にあったプラットフォーム Server&Client Application 開発
3. 分散のスーパーコンピューティングプラットフォーム環境に合う CONUN ブロックの技術開発及びコイン生態系調整
4. 国家別 CONUN Universal Network Platform の構築

私たちちはこのドリウさブロックチェインを活用した DAPP を開発し、運営体制の別、デバイス別に環境テストを実施した後、よくメインネットと称する独自の CONUN Blockchain Coin を開発することです。

私たちちはブロックを生成・検証、取引、インフレーションの分散のスーパーコンピューティングプラットフォームの生態系全般に適用可能であり、管理可能な CONUNCoin をサービスする計画です。

私たちちは技術ロードマップで述べたのと一緒に現在開発しているプロトタイプの形の初期バージョンは 2019 年初めにアルファバージョン(Alpha version)の名前で公開し、このドリウさのノードの概念と同じ CNS(CONUN SERVER)を国家別に設置してテストネットワーク環境を構築する予定です。

また、分散のスーパーコンピューティングプラットフォームがグローバルサービス化してリアルタイム電子の支払決済が可能な取引の遅延がない、即時的かつスピーディな TPS を自慢するブロックの技術を設計してテストネットワークを進めることです。

そしてテスト段階で発生した問題(Issues)を分析、修正、補完後、実際のサービスに必要な環境(はい、関連ウェブサイトなど)を整備して 2019 年末または 2020 年マーケットバージョンが発売される時点に先立ち、メイン・ネットワークを公開する予定です。

テストネットワークでは基本的に DSC 運営に必要なノードを構成するクライアントプログラムが作動し、これを通じてコノントークン(テストトークン)の保有、取引トランザクションの記録、コンピューティングリソースの要請や処理と関連した dApp が運営できる環境が構成されます。

そしてこれをもとに、実際の CONUN COIN を活用できる環境であるメインネットワークが追って実装される予定です。

使用者の収益性は使用者が保有したコンピュータリソースの性能(CPU、GPU、RAM、Storage、Network など)とプロジェクトに参加する程度によって比率を計算して適用することになります。

そして、分散処理プロジェクトを要請する側の補償水準によって異なって適用されます。

例えば、BOINC プロジェクトと同様に、純粋な研究目的のプロジェクトなら現在進行されている事例を見たころ、一日に得た収益が敵を数はいるが、もし商業的な目的のプロジェクトなら、それよりもっと多くの収益を補償受けるものと予想します。

このために、白書においても言及されたように、我々は、既存の研究所で行われたのと同じような純粋な研究目的のほかに、一般企業や団体で随行される商業プロジェクトを私たちのプラットフォームに吸収することで基本戦略を樹立して進める予定です。

これとは反対に、私たちはプロジェクトを開始する要請者つまり、分散コンピューティング使用者の収益性も同時に考慮しなければなりません。

サプライカントの費用が既存クラウドコンピューティング又は装備購買コストより顕著に少ない費用ができるだけ補償システムを構築しなければならないため、提供者の収益性を考慮されることはできません。したがって、フラット品を使用する双方(提供者及び要請者)の収益性を最大限に高めることができる補償システムを構築することです。

追加で消費者の収益性はプラットホームの参加による補償だけで決まることではないです。

基本的に使用者が増加して私たちプラットフォームの使用量が増加すれば、規模の経済によるインフレ効果を追加的な収益に含めることができます。

また、付加的なサービス(例:広告/アンケート調査等)を通じても付加収益を創出できるものと期待します。

このように、私たちはテストネットワーク環境で多くの悩みを抱えることになるはずであり、生態系の完成を向けた最終決定を下すことになります。

もう一つの例をあげれば、プラットフォームの使用による手数料を悩むかも知れないでしょう。

これは提供者及び供給者全員に該当する事項です。ブロックチェーンの構造上、取引、トランザクションを生成し、検証および合意する過程の一環として発行型または採掘型に手数料/補償政策を決めるのかは現在、明快に言えない段階です。

現在、このドリウのような合意アルゴリズムを採用しないか、さもなければ別の合意プロトコルを設計しというか、または、参加者たちに基本的な補償を与えてリソース使用量によって差別分配する方式にするか、遂行プロジェクトごとに加重値を置いて参加者の比率や処理能力に応じて割り当て量による分配をするのか、などについて経営、人文学的に多くの悩みをするつもりです。

私たちはプラットフォーム内で発生される手数料で一部を、純粋な研究プロジェクトに寄付する案も同時に計画しています。今後のメインネットワークが起動されてプラットフォームが安定化される程度によって手数料に対する具体的な政策を構成できることです。

私たちの CONUN プラットフォームの生態系はこのような多様な悩みと研究開発を通じてメインネットワークを構築した後、既存の参加者たちのトークンを暗号貨幣取引所と財団を通じてコノンコインに転換する計画を持っています。

私たちは各国家別ビジネス活動に合わせて、分散のスーパーコンピューティングプラットフォームの生態系を拡張していくことです。

3. CONUN 事業

私たちは現在まで多くの技術的、事業的な活動を持っており、今後多くの事業活動に参加することで、コノンの多様な事業進出に向けて努力することです。

コノンの事業モデルは分散のスーパーコンピューティングプラットフォームを構築してプラットフォームと連携される On/Offline Shopping mall、AD Service、Survey Service、Media Service、Message

Service などの直接的で付加的な事業モデルを計画しており、実体経済と融合させることができる Financial Technology 事業で Payment Gateway Service、暗号貨幣取引所を計画しています。

まず私たちは 2018 年 4 月に韓国で 5 百人程度の規模の分散のスーパーコンピューティング技術セミナーを開催しました。

ロックのチェーンに関心がある専門家集団、教授、エンジニア、それぞれのエージェンシーが参加しました。

私たちは韓国で小規模の技術セミナーを開催または参加してコノンの技術を紹介してロックチェーンネットワークを形成しています。

私たちは現在、以下のような事業活動をしています。

○ 私たちは現在、韓国の証券取引所であるコスダック上場会社(株)シーエヌプラスの最大株主です。また、他のコスダック上場企業とコスピ上場会社の経営権の買収などを協議しています。

私たちは 2019 年 4/4 四半期以内にあなたたはコリアのコスダック上場(迂回上場)を計画しています。

コノンコインを保有した人たちに保有コインの割合で上場前、株式の公募参加の権利を保障する計画です。

○

私たちは現在、ミャンマー(Myanmar)で JBJ グループとの共同事業投資契約を締結して東南アジアを中心とするエンターテインメント産業と流通産業、放送産業に進出しました。

"RoseQuartz" というアイドルグループがミャンマーや東南アジアのエンターメディア産業を成長させていて、コンサートチケット、MD 商品、化粧品、衣類など多くの GOODS とオン・オフライン上でコノンの電子支払い決済サービス(CON PAY)を適用するために開発を準備中です。

CONPAY はコノンのテストネットワーク内で運営されるものであり、重要な環境になることです。

○

また、私たちは 2019 年 1 月ごろ、ミャンマーに暗号貨幣取引所をサービスする計画にあります。電子支払い決済サービスである CONPAY は、暗号貨幣取引所と連動され、リアルタイムで決済が可能で大容量の処理が可能なブロックチェーン電子の支払決済を活性化させることで、ブロックチェーンの限界点を脱皮して、新しい方式の支払決済市場を開拓していくことです。

私たちは支払保証方式の概念を導入して進行するものであり、安全なセキュリティと安定性のある TPS を支援することです。

そして、私たちはミャンマー内に暗号貨幣取引所と CONPAY を通じて DSC プラットフォームを誘導し、ベータ、フィールドテストを実施する計画を持っています。

○コノンウン、フィリピン、ベトナムなど東南アジアに CONPAY を普及することと同時に暗号貨幣取引所を開設して DSC プラットフォームの潜在的な参加者を確保し、実物取引の適用を拡大していく計画を樹立することです。

○同様に、私たちは日本内にさまざまなコノンの技術を紹介して事業活動をすることで支払保証方式の P/G をサービスする計画を持っています。

韓流エンターテインメント社との業務提携してきた。、オンライン上の電子支払い決済サービスである CONPAY を適用して拡大していくことです。

○私たちは日本国内に暗号貨幣取引所設立または CONUN の上場が現実的に難しいということを理解して国内に暗号貨幣取引所をサービスしたり、国内の暗号貨幣取引所に CONUN を上場させることで、韓国と日本の CONPAY を連動させることができる計画を持っています。

○我々は大変重要な関心を持って中国を見守っています。

中国は非常に速いスピードで IT 産業が発展しており、IT 技術と IT インフラ、エンジニアたちも、驚くほど急成長している国です。

私たちは DSC プラットフォームの発展に中国内に重要な参加者たちが中枢的で核心的な役割を遂行する構成員になるものと期待しています。

これに、私たちは中韓インターネット言論社のポンファンマンと CONUN ブロックの共同事業の進行のために、業務提携を締結して中国内に CONUN の DSC 技術を持続的に紹介しています。

○韓国のソウルオペラ団と業務提携を締結してソウルオペラ団のコンサートのチケット販売などに CONPAY を使用するための計画を樹立中 있습니다。

○また、私たちは 2018 年 9 月 13 日、WBF(World Blockchain Forum)の歓迎晩餐会スポンサーとして参加して CONUN を紹介し、中国と韓国のブロックチェーン企業と技術を交流しました。

これとともに、私たちは CONUN プラットフォームの参加者たちの確保案でもビジネスプランを樹立することです。

現在 DSC プラットフォームは 1 車線デスクトップの使用者を対象に開発されます。したがって、プラットフォームに参加を望むすべての使用者は必ずデスクトップ PC クライアントプログラムを設置しなければなりません。

私たちはこのような使用者を確保するための方策としてまずブロックの関連コミュニティ、人工知能/ディプロニン関連コミュニティなどの専門家たちを対象に広報マーケティングをして初期使用者を確保する予定であり、韓国のビジネス計画でも知られている全国のネットカフェにクライアントを設置するようにしながら、ゲームユーザーにも広報を通じて使用者を確保する計画です。

また、一般的な広報、マーケティング手段のソーシャル・マーケティングと、メディア・マーケティングを通じて持続的な広報をして一般使用の参加を誘導するつもりです。

モバイル APP は使用者情報及び DSC プラットフォームで提供する基本情報を照会して管理する目的で開発され、トーケン財布の目的にも利用されます。

したがって、PC プログラムを設置するすべてのユーザーにモバイルアプリを設置するように、広報および誘導することです。

我々はこれから韓国と日本、東南アジアの中に CONUN を紹介して分散のスーパコンピューティングプラットフォームと連携事業および CONPAY への進出に向けてさまざまな活動を進める計画です。

また、DSC の重要な技術的、事業的拠点と確信している中国においても事業活動を持続的に進めて多様な消息を伝える予定です。

4. CONUN TOKEN

私たちはコノン、プロジェクト成功に向けてプリセールへの参加を計画しており、このドリウこと基盤の ERC20 トークンを発行して進める予定です。

また、DAPP 分散のスーパコンピューティングプラットフォームを初期アルファバージョンに開発し、テスト環境を構築した後、メインネットワークを構成し、コインに転換する予定です。

トークンとメインネットワーク転換後、構成比率は等しい、基金の運営は財団の政策によって可変的に変更されることができます。

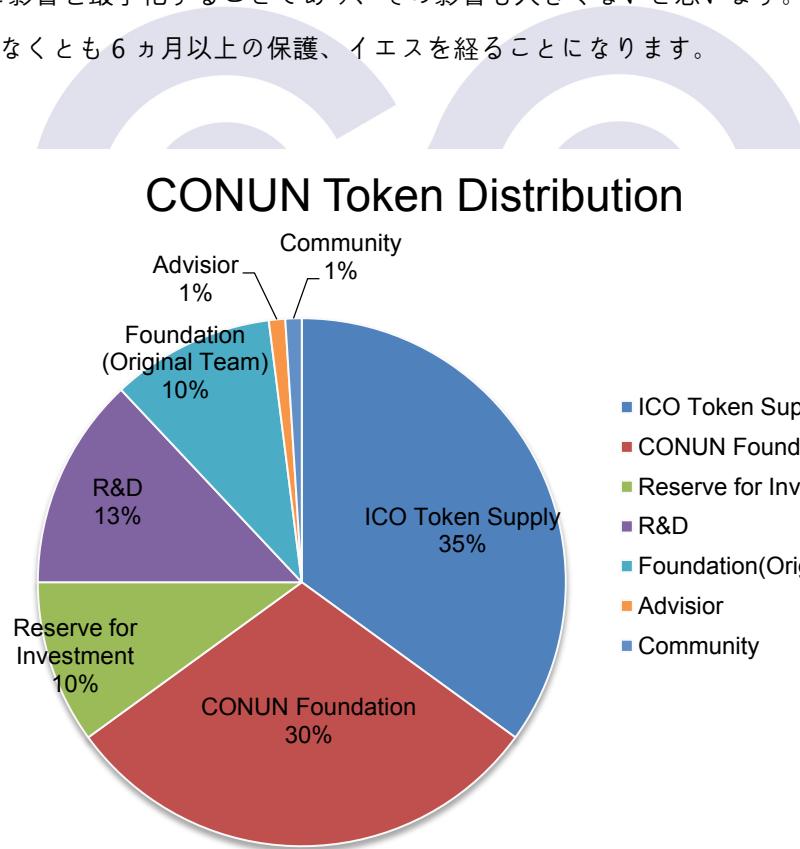
コノントークンは Ethereum ERC20 Token で、総発行量は 5,000,000,000 CON であり、次のようにトークンの構成が配分されます。

CONUN Foundation 保有 30%、Foundation Original team の保有 10%、R&D Team 13%、Reserve for Investment 10%など、23%は、財団の開発及び事業計画によって長期的な運用基金で使用されます。2%に割り当てられた Advisor、Community などは財団の運営政策によって上場 6 カ月後、差等供給する予定です。

Foundation(OriginalTeam)の 10%のうち、5%は CONUN と連携される共同創業者たちの事業運用基金に使われるのです。これは、これまでの努力と今後の補償に分配されるのです。

私たちは市場に影響を最小化することであり、その影響も大きくないと思います。

残った 5%は少なくとも 6 カ月以上の保護、イエスを経ることになります。



私たちは市場に急激な影響を及ぼしていはず、運用基金を造成することです。

私たちは総発行の 35%の 17.5 億 CON を国家別にセールをする予定です。 ICO Token Supply に配分されたトークンで私たちが望む目標額ほどの募金額が達成されなかった場合、残りの

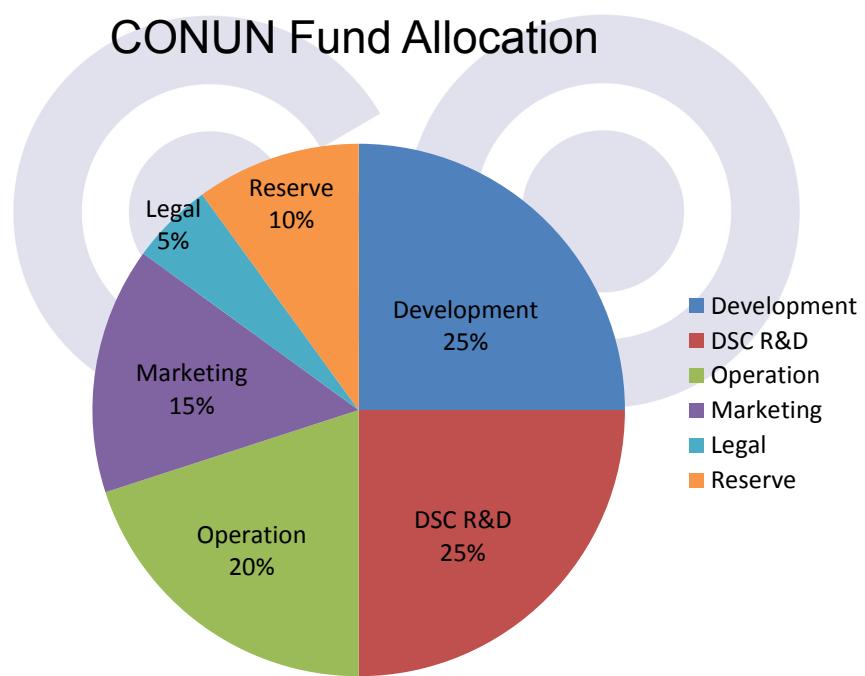
数量はプラットホームの生態系の参加者たちに補償する政策を樹立することです。

通常の購買価格は 0.03USD/1CON であり、購買ボリュームによって異なります。

私たちは CONUNProject のほか、他の所には基金が運用されておらず、募金された基金は財団の財布を通じて透明に公開されるものであり、透明な会計監査を通じて下記のように執行されるのです。

Deep Learning、Big data の分析、AI 研究プロジェクトなど、R&D 計画によって長期的に運営される DSCR&D に 25% が運用されるものであり、暗号貨幣取引所、AD サービス、Survey サービス、P/G サービスなどの開発に 25% が運用されるのです。

財団傘下の運営企業の運営費用とマーケティング費用、法律費用などで基金が運用されるのです。



5. ICO 計画

私たちは公式サイト(www.conun.io)でフリーセールを実施する計画であり、総発行量の 35%を販売する計画です。

ICO の開始の日付は 2018 年 10 月 20 日からで、終了日付は 2018 年 11 月 20 日です。

韓国、日本、その他の国を対象に、地域別にトークンを割り当て、セールを実施する予定です。

ICO 参加が不可能な国籍の所有者は参加できません。

プリセールは計 2 車線の行われる予定であり、予想 ICO Price は 0.03USD/1CON であり、Hard Cap 52,500,000 USD/Soft Cap 24,000,000 USD です。

トークンのセールが完了した後、暗号貨幣取引所上場のために、Locked Token を寄付参加者たちの財布に伝送することであり、セキュリティ政策上の理由で、一定期間、伝送が制限されます。

より詳細な内容については追って、公式サイト(www.conun.io)を通じて情報を提供することです。

次のサイトから提供されます。

- ◇ Official website: www.conun.io
- ◇ Official Blog: <https://brunch.co.kr/@conun>
- ◇ Official Twitter: <https://twitter.com/conunglobal>
- ◇ Official Facebook: <https://www.facebook.com/conun.io>